

天文用語に關する私見 (4)

(山 本 生)

星の名と、星座の名について

星座名のついでに、最近の一新問題として述べたいのは、支那の天文學名のことである。中にも、近頃、彼國から發行された「天文學名詞」を見ると、下記の二つの星座名が、日本で用ゐられてゐる名稱と比べて、妙に混雜してつてゐる。

原 語	支那語	日本名
Camelopardalis	鹿 豹 座	麒 麟 座
Monoceros	麒 麟 座	一角獸座

同様に、(星座の名ではないけれど) 下の如き場合もある。

Meridian Circle	子 午 儀	子 午 環
Transit Instrument	中 星 儀	子 午 儀

こんなわけであるから、吾人が只單に文書に書かれた學名として「麒麟座」や「子午儀」といふ文字に遭遇した場合に、先づ其れが日本語であるか、支那語であるか、又は、其の筆者が日本人であるか、支那人であるかを調べてからでないと、此等の術語の本統の意味が解し兼ねるのである。迷惑でもあり、滑稽でもある。元來、日本人と支那人とが、共に同じ漢字を用ゐるのであるから、學名などの決定には、單に各々の國內だけの協定に委せず、一應、國際的の打ち合はせなどを行ふべき筋合ひだと言はなければならない。例へば、同じ English を用ゐてゐる英米兩國に於いて、今若しも同じ一英語を以つて、英米兩國の人々が、別々のラテン語の譯名だと決定したならば、之れを書く人も、讀む人も、始終其の解釋に迷はされて、むしろ英語譯そのものの使用を不便とし、敢へてラテン語そのまゝを日常にも用ゐるのを便利とするに至るであろう。上記の如き日支兩國語の場合も全く此の通りなので、實に困つたものである。—— 只、幸か不幸か!! 今や、支那側の天文學名は正式に決定してつたのであるけれど、日本での天文學術語は未だ正式に決定してゐ

ないのだから。將來、日本で之れを協定する場合に、かなりの妥協的態度を以つて、既に動かすべからざる支那語へ道を譲るだけの度量を持つことが出来れば、理屈は兎も角として、實際上の不便を無くすることは出来る筈である。我が學界識者たちの熟考を促す所以である。

星座名が今日の日本語界に於いて可なり マチタタであるのに比べると、個々の星の名は比較的によく統一されてゐて、大問題は無い。但し、星個々の名としては、洋名のみならず、昔し支那から移入された「狼星」だの、「角星」だの、「大火」だの、「牽牛」だの、「織女」だのと言つたやうなものが現に或る程度まで用ゐられてゐるのであるけれど、しかし、少くとも學界や俗界一般に於いて、洋式にしる、漢語にしる、呼び方が混雜して、意味の不明瞭を來さしめるといふものは殆んど見當らない。之れは誠に結構なことである。それに、何れかと言へば、態々、星の古い漢名を用ゐる人は多くは舊式の文人であるし、新時代の天文學者は殆んど皆、洋名を正式のものとして用ゐてゐるものだから、甚だ以つて都合が良い。

只、星の洋名を日本流にカタカナで書き表はす場合に、いろいろの立場の違いや、流儀の違いから、多少の差違が人によつて現はれることがある。例へば、Regulus を「レグルス」と書いたり、「レギュラス」と書いたり、又、Spica を「スピカ」や「スパイカ」「スピカ」等と呼び、Mizar を「ミザ」¹、「ミザール」²、「マイザ」³等と呼び、Arcturus を「アルクチュラス」⁴、「アクトールス」⁵、「アルクトウルス」⁶、「アクトチュルス」⁷等々、其の他、こうした例は多い。此等は要するに今日の我が日本に於いて、外國語の種々な系統が全く無統制に入つて來てゐるため、更に此等の發音をカナで表はす方法が統一されてゐないこと等のために起る差違であつて、今の國情からは或る程度まで止むを得ないものと、一應、許さなければなるまい。しかし、嚴密に「我が日本語」といふ立場から考へれば、上記の如き寛大な心で此等の無統制を其のまゝ許して置くべきものでは無いこと、勿論である。いつかは、適當な機會に、嚴密な調査研究を経て、統一されるべき筈のものである。只その場

合に、(前にも述べたことであるが)、『カナを以つて表はす新日本語を決定するのが主眼であつて、決して西洋語の發音をカナで忠實に寫し取るといふことにのみ因はれてはならない』ことを、くれぐれも注意すべきである。吾人は、今立ち入つた理由は(胸中に持ち合はせてゐるけれど、一々書くのは面倒だから、必要が迫つて来るまでは略して置くとして)こゝに述べないまいにし、只、最後のな形だけを、若干、模範例として、書き並べて見やう。

原 名	日 本 語
Achernar	アケルナ
Alcor	*アルコア
Alcyone	アルシオネ
Aldebaran	アルデバラン
Algol	アルゴル
Altair	*アルタイル、又は牽牛
Antares	アンタレス、又は大火星
Areturus	*アクトウル、又は大角
Betelgeuze	ベテルギウス
Canopus	カノプス、又は老人星
Capella	カペラ
Castor	*カストア
Deneb	デネブ
Denebola	デネボラ
Fomalhaut	*フォマルホト

原 名	日 本 語
Hyades	ヒヤデス
Mira	ミラ
Mizar	ミザ
Pleiades	*プレヤデス、又は昴、又はしすばる
Polaris	北極星
Polarissima	*極北星
Pollux	ポルクス
Praesepe	*ペレセーペ
Procyon	プロシオン
Proxima	*最近星
Regulus	レグルス
Rigel	リーゲル
Sirius	シリウス、又は天狼
Spica	スピカ、又は角星
Vega	ゼーガ、又は織女

此の外、特に英語でなじみの星群の名もある。

洋 名	日 本 名
Great Dipper	北斗
Orion's Belt	三つ星
Southern Cross	南十字架

星座の名を一通り論じた序でに、自分はこゝに最も妥當だと信ずる星座の名の一覧表を次に掲げることにする、總計88座、この外、現今の天文書には用ゐられないけれど、古い文書にのみ現はれ、専門家よりも、却つてアマチュアたちに忘れられない珍しい星座が若干ある。(天文年鑑1929年乃至1932年を見られよ。)此等は改めて論ずることにする。

星 座 學 名	邦	譯	星 座 學 名	邦	譯
Andromeda	アンドロメ		Indus	インデアン	
Antlia	ボンブ		Lacerta	とかげ(蜥蜴)	
Apus	ふうてう(風鳥)		Leo	しゝ(獅子)	
Aquarius	みづかめ(水瓶)		Leo Minor	こじゝ(小獅子)	
Aquila	わし(鷲)		Lepus	うさぎ(兎)	
Ara	さいだん(祭壇)		Libra	てんびん(天秤)	
Argo Navis	アルゴ船		Lupus	おほかみ(狼)	
Aries	ひつじ(羊)		Lynx	やまねこ(山猫)	
Auriga	ぎよしや(馭者)		Lyra	こと(琴)	
Bootes	まきを(牧夫)		Microscopium	むしめがね(顕微鏡)	
Caelum	てうこくぐ(彫刻具)		Monoceros	いつかくじう(一角獣)	
Camelopardalis	きりん(麒麟)		Mensa	ひらやま(平山)	
Cancer	かに(蟹)		Mucca	はへ(蠅)	
Canes Venatici	れうげん(獵犬)		Norma	ちようぎ(定規)	
Canis Major	おほいぬ(大犬)		Octans	八分儀	
Canis Minor	こいぬ(小犬)		Ophiuchus	蛇遣ひ	
Capricornus	やぎ(山羊)		Orion	獵夫オリオン	
Carina	りうこつ(龍骨)		Pavo	くじやく(孔雀)	
Cassiopeia	カシオペヤ		Pegasus	神馬ペガス	
Centaurus	センタウル		Persens	ペルセウス	
Cephens	セフェ王		Phoenix	ほうわう(鳳凰)	
Cetus	くぢら(鯨)		Pictor	ゑかけ(畫架)	
Chamaeleon	カメレオン		Pisces	うを(魚)	
Circinus	コンパス		Piscis Austrinus	みなみうを(南魚)	
Columba	はと(鳩)		Puppis	とも(艫)	
Coma	ベレニスの髪		Pyxis	らしんばん(羅針盤)	
Corona	かんむり		Reticulum	レチクル	
Corona Australis	南かんむり		Sagitta	や(矢)	
Corvus	からす(烏)		Sagittarius	いて(射手)	
Crater	コップ		Scorpius	さそり(蝎)	
Crux	十字架		Sculptor	アトリエ	
Cygnus	はくてう(白鳥)		Scutum	たて(楯)	
Delphinus	いるか(海豚)		Serpens	へび(蛇)	
Dorado	かぢき(旗魚)		Sextans	六分儀	
Draco	りよう(龍)		Taurus	うし(牛)	
Equuleus	こうま(小馬)		Telescopium	とうめがね(望遠鏡)	
Eridanus	エリダン河		Triangulum	さんかく(三角)	
Fornax	化學爐		Triangulum Australe	南三角	
Gemini	ふたご(双子)		Tucana	トウカン鳥	
Grus	つる(鶴)		Ursa Major	おほくま(大熊)	
Hercules	ヘルクレス		Ursa Minor	こくま(小熊)	
Horologium	とけい(時計)		Vela	は(帆)	
Hydra	ヒドラ		Virgo	をとめ(乙女)	
Hydrus	みづへび(水蛇)		Volans	とびうを(飛魚)	
			Vulpecula	きつね(狐)	